

「授業を通して修得できる力」のコモン・ルーブリック

授業を通して修得できる力	評価項目	4	3	2	1
		期待している以上の到達レベル	十分に満足できる到達レベル	やや努力を要する到達レベル	相当の努力を要する到達レベル
多文化・異文化に関する知識の理解	・多文化・異文化に関する知識の獲得 ・文化の多様性についての理解と説明	多文化・異文化に関する体系的かつ総合的知識を獲得したうえで、複数の観点から文化の多様性を理解し、的確に説明できる。	多文化・異文化に関する体系的な知識を獲得したうえで、複数の観点から文化の多様性を理解し、説明できる。	多文化・異文化に関する知識を部分的に獲得し、何らかの観点から異なる文化の比較と理解ができる。	多文化・異文化に関する知識を表面的に有し、異なる文化の比較ができる。
人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	・専門知識の体系的な理解 ・専門知識の適正な活用	文化・社会と自然に関する専門的な知識を体系的に理解するとともに、その意味を文化・社会・自然と関連づけて適正に活用することができる。	文化・社会と自然に関する基本的な知識を体系的に理解するとともに、その意味を文化・社会・自然と関連づけて活用することができる。	文化・社会と自然に関する基本的な知識を理解するとともに、その意味を文化・社会・自然と関連づけて部分的に活用することができる。	文化・社会と自然に関する基礎的な知識を理解することができる。
コミュニケーション・スキル	・言語スキル(読み、書き、聞き、話す) ・言語使用 言語運用能力	日本語、特定の外国語、その他の伝達様式等を用いて、必要とされる情報を理解し、まとめ、コミュニケーションの目的に応じた内容を適切な方法で伝える(表現する)ことが総合的にかなりできている。	日本語、特定の外国語、その他の伝達様式等を用いて、必要とされる情報を理解し、まとめ、コミュニケーションの目的に応じた内容を適切な方法で伝える(表現する)ことがかなりできている。	日本語、特定の外国語、その他の伝達様式等を用いて、必要とされる情報を理解し、まとめ、コミュニケーションの目的に応じた内容を適切な方法で伝える(表現する)ことが十分にできている。	日本語、特定の外国語、その他の伝達様式等を用いて、必要とされる情報を理解し、まとめ、コミュニケーションの目的に応じた内容を適切な方法で伝える(表現する)ことが最低限できている。
数量的スキル	・数学的形式(※1)で提示された情報を理解し、データの量的分析から結論の導出 ・問題解決のための計算の実行 ・数学的形式を活用して得られた結果の表現	数学的形式(※1)で提示された情報を理解し、データの量的分析から十分に確な結論を導くことができる。試みた計算はすべて成功し、明確かつ簡潔であり、数学的形式を洞察力をもって活用して結果を適切に表現することができる。	数学的形式(※1)で提示された情報を理解し、データの量的分析から十分に確な結論を導くことができる。試みた計算はすべて成功し、数学的形式を活用して結果を適切に表現することができる。	数学的形式(※1)で提示された情報の過半を理解し、データの量的分析から結論を概ね正確に導くことができる。問題解決に求められる一部に対して計算に成功し、結果の表現に数学的形式を部分的に取り入れている。	数学的形式(※1)で提示された情報の理解、データの量的分析からの結論の導出および結果の数学的描写についてそれぞれ最低限できている。
情報リテラシー	・図書館や情報通信技術(ICT)を利用した情報の収集 ・情報の分析に基づく判断 ・情報使用方略(※2)の使用およびモラルに則った活用	図書館や情報通信技術(ICT)を利用して、多様な情報を適切な情報源から効果的に収集し、徹底的な分析により適正に判断することができる。また、情報使用方略(※2)のすべてを正確に使用し、モラルに則って効果的に活用することができる。	図書館や情報通信技術(ICT)を利用して、多様な情報を収集・分析して適正に判断することができる。また、情報使用方略(※2)の3つを正確に使用し、モラルに則って効果的に活用することができる。	図書館や情報通信技術(ICT)を利用して、限られた情報源から情報を収集・分析して適正に判断することができる。また、情報使用方略(※2)の2つを正確に使用し、モラルに則って効果的に活用することができる。	図書館や情報通信技術(ICT)を利用して、手あたり次第に情報を収集し、分析して概ね適正に判断することができる。また、情報使用方略(※2)の1つを正確に使用し、モラルに則って活用することができる。
論理的思考力	・論点の把握 ・適切な根拠 ・多面的理解 ・主張内容の整合性	問題の論点を把握し、適切な根拠(情報、データ等)に基づき、他の異なる主張を踏まえて、自分の主張(結論)を、整合的かつ明快に表現できる。	問題の論点を把握し、適切な根拠(情報、データ等)に基づき、自分の主張(結論)を整合的かつ明快に表現できる。	問題の論点を把握し、適切な根拠(情報、データ等)に基づき、自分の主張(結論)を表現できる。	問題の論点を把握し、根拠(情報、データ等)に基づき、自分の主張(結論)を表現できる。
問題解決力	・問題の発見 ・情報の収集 ・情報の分析、整理 ・解決方法の提案	与えられた課題について、問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決方法を多様な視点から提案できる。	与えられた課題について、問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決方法を提案できる。	与えられた課題について、問題を発見し、解決に必要な情報を収集できる。	与えられた課題について、問題を発見することができる。
自己管理力	・総合的理解力 ・自律的探究心 ・継続的探究心 ・発展的探究心	要求されている内容を理解したうえで、自ら要求されたこと以上の事柄を率先して学ぶことに興味をもち、その機会を作り、実践し、展開していくことができる。またその知識を他の学修に活かす考えをもつことができる。	要求されている内容を理解したうえで、自らその内容に興味をもち、自律的に関連する情報を数多く収集し、継続的に探究することができる。	要求されている内容を理解したうえで、自らその内容を整理し、自律的にさらなる知識を得るために探究することができる。	要求されている内容を理解したうえで、新しい知識や技能を学ぶことを自律的に探究することに興味を示している。
チームワーク	・全体的判断力・統率力 ・他者との考えの共有 ・分担・協力し実践する能力 ・円滑なグループ運営	目標を達成するための課題について関心をもち、グループのメンバーとして考えを共有しつつ他者の意見を傾聴し、さらに目標を達成するための課題を整理して自分の役割を全うすることができる。また、全体を俯瞰しながら1人1人の役割を考え、割り振り、意見をまとめあげることで、グループの活性化を図ることができる。	目標を達成するための課題について関心をもち、グループのメンバーとして考えを共有しつつ他者の意見を傾聴し、さらに目標を達成するための課題を整理して自分の役割を全うすることができる。また、円滑なグループ運営を目指し、他者を気遣うことができる。	目標を達成するための課題について関心をもち、グループのメンバーとして考えを共有しつつ他者の意見を傾聴し、さらに目標を達成するための課題を整理して自分の役割を全うすることができる。	目標を達成するための課題について関心をもち、グループのメンバーとして考えを共有し、他者の意見を傾聴することができる。
リーダーシップ	・使命の確立 ・意思の伝達 ・組織を統率する力 ・自ら行動する姿勢	他者に目的、方向性、到達点、優先順位、自己と他者の役割を明確に示し、目的の実現に向けて積極的に行動することが総合的にかなりできている。	他者に目的、方向性、到達点、優先順位、自己と他者の役割を明確に示し、目的の実現に向けて積極的に行動することがかなりできている。	他者に目的、方向性、到達点、優先順位、自己と他者の役割を明確に示し、目的の実現に向けて積極的に行動することが十分にできている。	他者に目的、方向性、到達点、優先順位、自己と他者の役割を明確に示し、目的の実現に向けて積極的に行動することが最低限できている。
倫理観	・倫理的問題の把握 ・多様な観点 ・倫理的推量 ・よりよい解決策の提案	倫理的問題を的確に把握し、多様な視点をふまえ、自己の立場を分析し、かつ説明できる。さらに、自分の立場に基づく行動をとった場合の影響について考え、よりよい解決策を示すことができる。	倫理的問題を的確に把握し、多様な視点をふまえ、自己の立場を分析し、かつ説明できる。さらに、自分の立場に基づく行動をとった場合の影響について考えることができる。	倫理的問題を的確に把握し、多様な視点をふまえ、自己の立場を分析し、かつ説明できる。	倫理的問題を的確に把握し、自己の立場を分析し、かつ説明できる。
市民としての社会的責任	・社会の一員としての自覚 ・義務の履行と権利の行使の理解 ・社会発展の積極性	社会の一員として高い意識をもち、義務と権利を適確に理解しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる。	社会の一員としての意識をもち、義務と権利を理解しつつ、社会の発展のために関与できる。	社会の一員としての意識をもち、義務と権利を概ね理解しつつ、社会の発展のために関与しようとしている。	社会の一員としての意識はもっているが、義務と権利の理解が不十分であり、社会の発展のために関与しようとする姿勢にやや欠ける。
生涯学習力	・発展的な課題への関心 ・主体的に調査・探求する力 ・新たな状況への応用しようとする態度 ・継続的な学習への意欲	授業内容に強い関心を示し、意欲的に学習する。学習した事柄にもとづき、自ら発展的な課題を複数発見し主体的に調査・探求する。それらを、新たな状況に応用できる。今後も継続し、さらに高次へと高めていこうとする意欲をもつ。	授業内容に関心を示し意欲的に学習し、自ら発展的な課題を発見し主体的に調査・探求する。それらを、新たな状況に応用できる。今後も継続できる。	授業内容を意欲的に学習し、発展的な課題を発見・調査・探求する。それらを、新たな状況に応用しようとする。今後も継続していこうとする意欲を持つ。	授業内容について学習し、発展的な課題を発見・調査・探求しようとする。それらを、新たな状況に応用する方法を考える。

※1 数学的形式
※2 情報使用方略

等式、グラフ、図、表、言葉
・引用や出典の仕様
・パラフレーズ・要約・引用の選択
・もとの文脈に照らして正しいやり方で情報を使用すること
・常識と帰属を必要とする(＝誰のアイデアかを記すべき)アイデアとを区別すること